

<支援の充実を図る②>

地域支援センター



1 相談の実績(4月～9月)

来校・電話相談	53件
就学前乳幼児支援※ ¹	36箇所
「キラキラ教室」参加※ ²	33件
出かける支援	40件

- ※¹ 田村市「すくすく教室」
北部・南部子育て支援センター
- ※² 第1回～第4回まで参加した幼児、保護者、関係機関職員数。今後第5・6・7回を開催予定。



キラキラ教室の様子

2 今年度の取組

1) 広報活動

4、5月に新しいリーフレットやキラキラ教室の年間計画等を持参し、県中地域はもちろんのこと、県北、県南地域、南会津地域に出向き、教育事務所や教育委員会、保健福祉事務所、保健センター、相談支援事業所等を訪問しました。また、今年度特に力を入れて進めている在宅医療的ケア児への支援のために、郡山市内の医療機関も加え、計36カ所を訪問し広報に努めました。

2) 地域支援センター特別支援教育研修会

日時：令和元年8月22日(木)

内容：(午前) 分科会



第1分科会	○就学の制度等に関すること
第2分科会	○個別の教育支援計画の作成と活用に関すること
第3分科会	○教材・教具(AT機器を含む)やスヌーズレンに関すること
第4分科会	○身体の動きや姿勢に関すること

小・中学校、特別支援学校より24名の参加者があり、「スヌーズレンの理念を理解することができた」「身体と心との関係を知ることができた」等の感想をいただき、本校の専門性を生かした分科会となりました。

(午後) 講演会



テーマ「自立活動の捉えと学校生活

～身体に不自由がある子どもの授業づくり～」

講師：国立特別支援教育研究所 主任研修員 北川 貴章氏

外部・校内を合わせて113名が参加して、教員としての資質の向上と授業改善・充実に向けた研修を行いました。

3) 就学前在宅重度心身障がい児への支援

今年度は行政や医療機関と連携して、就学前の在宅重度心身障がい児への支援に取り組んできました。キラキラ教室は昨年度よりも講座を一つ増やし、案内や資料を送付してきました。地域の医療機関からの紹介を受けて参加した保護者や医療関係者が参加するなど、昨年度よりも参加者が増えています。

また、地域の自立支援協議会に出席し、医療的ケア児の支援体制構築に協力しています。

4) 小・中学校等における肢体不自由のある幼児児童生徒への支援

県中・県北・県南・会津地区から依頼があり、肢体不自由のある幼児児童生徒の困り感への理解と対応の仕方やその特性を踏まえた授業づくり(ICTも含め)等の相談支援や研修支援を行ってきました。ニーズに応じ、校内の組織を活かして、より専門性の高い支援の提供に務め、継続しての相談が増えてきています。